

会 議 録

会 議 名	第 3 回山陽小野田市中小企業振興協議会
開 催 日 時	平成 2 8 年 1 2 月 2 1 日 1 0 時～1 1 時 3 0 分
開 催 場 所	山陽小野田市役所 3 階 第 1 委員会
出 席 者	清水俊宏 委員、西田雄二 委員、嶋田正平 委員、 長田毅彦 委員、三浦京子 委員、吉村敏彦 委員、 吉尾毅 委員
欠 席 者	水上隆男 委員
事 務 局	産業振興部商工労働課
会 議 概 要	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ 《会長からあいさつ》</p> <p>3 議事 山陽小野田市中小企業振興推進計画の事業案について 《事務局より説明》 施策 4 について（資料 2）</p> <p>（委員） 市の入札の見直しとはどういったものか。また、現状はどういう状況か。</p> <p>（委員） 現在、市内に本店がある企業の入札受注枠が全体の約 20%と少ない。市内企業の活性化のためにも、もう少し市内企業が受注しやすい仕組みになるように見直しをする必要がある。</p> <p>他市では、市内に本店がある事業所のみが 1 次入札に参加できたり、下請け部分については、地元の事業者を使うことが次の入札参加条件であったりと様々な取組をされているところもある。</p> <p>（事務局） 市では物品などは入札制度で市内にある事業所が優先ではあるが、市の規模の問題もあり、市内で扱えないものもあるため、市内・準市内・県内と案件ごとに決めている。また、金額</p>

によっては入札業者数も決めるなどもしているが、市内業者優先と予算の適正執行とのバランスの中で、よりよい形に見直しを行いたいと考えている。

(委員)

商店街にぎわい創出事業と商業振興諸行事支援事業との違いは何か。また、小野田地区と山陽地区にある商店街のバランスは保たれているのか。

(事務局)

商業振興諸行事支援事業とは、小野田駅前の夏祭り、秋祭りへの補助金である。

厚狭駅前商店街で実施されている諸行事へは、市の市民生活課が補助金を交付している。

(委員)

どの部署がどの行事に補助しているかなどしっかり整理しておく必要がある。窓口が一元化していると公平性も保ちやすい。

(事務局)

目的ごとに担当部署が違っている。商業振興なのか地域づくりなのかなど住み分けされている。補助金額は同額となっている。

(委員)

小野田駅前のまつりは1日限りであるので商業振興とはなっていないように感じる。

厚狭のおひなさまめぐりは2週間継続して実施しているためその間賑わいを創出している。

(事務局)

商店街が主催となって人に来てもらうことを目的としての開催であり、商店街振興策の一環と認識している。

(委員)

厚狭のホテル開業など恒久的な施設ができると良い。

(委員)

シャッター通りのシャッターペイント補助などはどうだろうか。

(事務局)

	<p>どこできっかけづくりをしていくか考えていく必要がある。</p> <p>(委員) 市内企業データベース事業のデータはどこから得るのか。</p> <p>(事務局) 商工会議所の会員データを基に、市内2000以上ある事業所を把握するためにデータベース化し、整理したい。統計調査のデータなどを活用することはできないので、まずは代表者名や事業所概要等の構成になると思う。</p> <p>(委員) 大学においても物品発注時に市内企業のデータベースがあると助かる。</p> <p>(委員) 事業所で取引を行う上でも、データベースがあると非常に良い。受注企業も発注先を探す上で、検索できるデータベースがあると助かる。</p> <p>(委員) 市のにぎわいに資する事業に市からバックアップ体制や補助などがあると大変助かる。</p> <p>(委員) 市内企業フェア（物産展）開催とはどういったものか。</p> <p>(事務局) 市内企業に製品を出展していただき、展示することで市民の方に市内製品を知っていただくことを目的にしている。ただし、企業フェア単独の開催では集客等難しいと考えているため、まつりなどの他行事に絡めて開催することを考えている。</p> <p>(委員) 企業の対象はどうするのか。商業・工業分野に絞ると中小企業では自社製造の物産（ブランド商品等）を出展できる企業は非常に少ないと思う。</p> <p>(事務局) 出展いただく製品は、部品などでも構わないと思っている。市内でどのようなものが作られているかを知っていただくことが大切である。</p> <p>(委員)</p>
--	--

出展できる製品がない場合は、パネル展示などで紹介することも良いと思う。継続して開催することが大切である。

(委員)

商工センター施設整備事業とはどういった内容か。

(事務局)

商工センターは市の施設であり、昭和54年に竣工しているため、耐震化も含め整備が必要となっている。

施策5について

(事務局)

施策5は、「ねたろうかぼちゃ」などの名産品認定事業や卸売市場の管理など農林水産分野の事業が多い。

平成29年度以降の取組としては、中小企業地域資源活用促進法に係る地域資源の見直し（地域資源認定した商品を中小企業が活用し事業展開する場合に国の補助金を受けることができる）や商品のブランド化や製品化支援を考えている。

(委員)

地域資源とは、観光地や厚狭の「ねたろう」も含まれるのか。

(事務局)

他市の例をみても、含まれると考えている。

(委員)

本市にも江汐公園がある。これを活用できないだろうか。

(事務局)

江汐公園は多くの方に使っていただいているが、全体としてわかりにくいとの意見がある。現在、市の若手職員を中心とした「江汐公園魅力向上検討委員会」を立ち上げたところである。

(委員)

江汐公園は誰でも使えて、健康づくりには最適である。

市内には、物見山公園など名所があるため知ってもらう取組が必要である。

(委員)

ふるさと山陽小野田応援事業とはふるさと納税のことか。

(事務局)

今年度からふるさと納税していただいた方へ市内特産品などを返礼品として活用し、地元商品のPRにつなげている。

(委員)

本市の知名度は全国的にみても低いとのデータがあり、魅力等を発信するべきである。

(委員)

ふるさと返礼品はどのように決めているのか。

(事務局)

公募である。

(委員)

大学も地域資源であり、最寄駅から大学までに若者が集える場所ができると良い。大学周辺の活性化をお願いしたい。

(事務局)

これから学生も増えてくるため、学生を取り込む施設は必要であると考えている。

(委員)

本市の南部は大学が核となるので、是非願います。

施策6について

(委員)

創業応援金とはどのようなものか。

(事務局)

本年国の認定を受けた「山陽小野田市創業支援事業計画」に基づき、支援を受けた方が創業した場合、創業後1年程度をめぐりに市から応援金をお渡しできるような事業を考えている。

(委員)

創業支援事業計画に基づく支援とはどのようなものか。

(事務局)

商工会議所、金融機関、市の各創業支援機関が、創業相談窓口を設置し、創業希望者に対し、支援機関が実施するセミナーへの参加及び個別支援による「経営、財務、人材育成、販路開拓」に係る支援を実施するもの。

原則、4回以上かつ1ヶ月以上の期間をかけて指導し、この支援を受けた創業希望者に対し、支援事業を受けたことの証明

を市がしている。

ただし、市単独では全ての支援メニューができないため、商工会議所等とも連携しながら支援していきたい。

(委員)

商工会議所への相談状況はどうか。

(委員)

相談内容は多様化してきている。

(委員)

民間の後継者支援セミナーなどは高額であるため、市や商工会議所が勉強会などを開いてもらえると参加者は増えると思う。

(事務局)

中小企業支援セミナー施策の中で商工会議所とも連携しながら実施していきたい。

(委員)

中小企業大学校の受講料支援も具体的な支援内容がわかれば活用する方はあると思う。

(委員)

創業支援に係るワンストップ窓口は市の商工労働課のほかにも厚狭複合施設内にもお願いしたい。

(事務局)

総合事務所側の了解は得ているので、速やかに設置したい。

施策7について

(委員)

市の制度融資の利用状況はどうか。

(事務局)

年間20件程度の利用がある。

(委員)

中小企業の方は相談する場所もなく困っていることが多いため、訪問強化は大変ありがたい。

施策8について

(事務局)

施策8は関係団体や市民との連携協力に関する事業であるため、先ほど施策4にあった「市内企業データベース作成事業」を再掲であげさせていただきたい。

(委員)

再掲を無くし、一つの施策にした方がわかり易いのではないか。

(委員)

大学では、現在、来年1月に発刊予定の大学シーズ集作成やホームページの充実を図り情報発信体制の強化に努めている。技術相談についてもホームページ上での受付を可能とし、直接教授とのやりとりができる。

ニーズとシーズのマッチングのスピード化に取り組んでいる。

(委員)

子育てやイクメンを支援する事業所も増えてはいるが、現状として保育園が不足しているように感じる。企業団地内に保育所があると良いと思う。

(委員)

工業団地に近い保育所等は常にいっぱいであり、便利なところに集中する傾向はある。

(事務局)

子育て支援は大切な問題である。保育所の増設には保育士確保や保育士の処遇の問題など、福祉分野も関連してくるため、今後の検討課題とさせていただきたい。

4 その他

なし

5 閉会